

日赤にいがたNEWS

NISSEKI NIIGATA 号外

令和5年3月

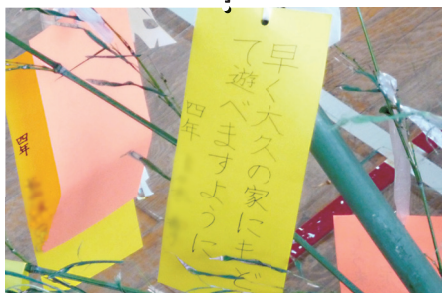
発行

防災特集



被災された方々に、
私たちは何が出来るだろうか？
今までも、これからも。

2011.3.28 ©Japanese Red Cross Society



当支部が行った復興支援活動はこちらをご覧ください





防災チェック チェックリストにあるもので、一人ひとつ避難バッグを作ってみましょう。

貴重品

- 現金(小銭をふくむ) ※公衆電話用に10円玉、100円玉も
 - 印鑑
- 以下の2つは、現物を持ち出せなかった場合に備えてコピーを入れておく

- 健康保険証
- 身分を証明できるもの(学生証、パスポートなど)
- 予備の眼鏡

情報収集用品

- 携帯電話(充電器をふくむ)
- 携帯ラジオ(予備電池をふくむ)
- 家族の写真(はぐれた時の確認用)
- 家族との災害時の取り決めメモ
- 筆記用具



食料

- 非常食
- 飲料水



便利品

- ヘルメット
- 懐中電灯(予備電池もふくむ)
- 笛やブザー(音を出して知らせるもの)
- 万能ナイフ 使い捨てカイロ
- マスク ビニール袋
- アルミ製保護シート 毛布
- スリッパ 軍手 マッチかライター
- 給水袋 雨具(レインコート、長靴など)
- 簡易トイレ



清潔・健康のためのもの

- 救急セット
- 常備薬・持病薬
- タオル
- トイレトペーパー
- 着替え(下着をふくむ)
- ウェットティッシュ
- 生理用品
- 歯みがきセット
- 消毒できるもの
- 体温計
- ビニール手袋



※参考:日本赤十字社防災教育事業『災害の備え』 日本赤十字社新潟県支部のYouTubeでは、他にも災害時に役立つ知識などを動画でお伝えしています。ぜひご覧ください!

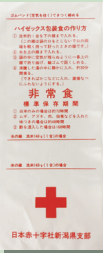


防災グッズ紹介「ハイゼックス」

ハイゼックスとは、災害時などの炊き出しに使用する、高密度ポリエチレン製の災害救護用炊飯袋です。以下のような特徴があります。
※市販されている耐熱性の高いポリエチレン製の袋でも代用できます。

水を節約

材料には飲料水を使用。茹でるには飲み水以外でも可能です。鍋が汚れず洗う手間も省けます。



熱に強い

耐熱性が高く丈夫な素材のため、材料を入れた袋ごと茹でることができます。

調理が簡単

袋に材料を入れ、一定時間茹でればできあがります。

衛生的

袋のまま配ることができ、持ち運びも簡単です。

※材料を入れたあと、破裂を防ぐために袋の中の空気をしっかり抜き、輪ゴムでしばるか、袋を固く結びます。
※主食の米は洗わずに使うことを前提としています(洗う場合は水の量を調整してください)。

ハイゼックスはご購入いただけます。ご興味のある方はお問合せください。

ハイゼックス 使用レシピ

さばじゃが

《材料》

- じゃがいも …… 100g
- 人参 …… 40g
- キャベツ …… 20g
- さばの味噌煮缶 … 1缶

《作り方》

- ①じゃがいも・人参は皮をむき、1口大の乱切にする。
- ②キャベツは手で適当な大きさにちぎる。
- ③ハイゼックスまたはアイラップ袋に①と②とさばの味噌煮缶の汁を入れ、空気をぬき上部をしっかりと輪ゴム等でしばり、煮立った湯に入れ、煮る(ハイゼックスは20分、アイラップ袋は15分)。火を止めて5~10分そのままにし、器にさば缶の身と一緒に盛り付ける。



県支部職員のごども(7歳)にも簡単に作れました!



2023年5月(予定) 災害時は救護活動の拠点となる新社屋が竣工!!

災害時は救護活動の拠点となる大きな役割に加え、防災や応急手当などが体験・学習できる新社屋が2023年5月(予定)に竣工します。
当支部は、年間を通じて多くの皆様が集い、親しまれ、地域に開かれた赤十字施設を目指してまいりますので、ぜひご活用ください。



完成予定図(実施設計段階のイメージ)



新社屋の主な機能

クロスホール
クロスラウンジ

災害への備えと発生時の対応

- ホールとラウンジを一体化させて災害対策本部を設置(全員のスタッフが集結)
- Wifi無線通信、業務用無線設備等により通信機能を確保

市民の参加と利用

- 防災体験や応急手当などの講習会
- 地域の会議や研修会など
- 学生の学習スペース

ボランティア
ルーム

- 赤十字防災ボランティアセンターを設置
- 日赤医療チーム等の活動の拠点(衣食住)
- ボランティア活動の拠点
- 学校の部活やサークル

屋外
(テラス・駐車場)

- 屋外テント(仮設救護所)を設置
- 災害に備えた救護訓練を実施
- 屋外イベントや防災体験教室

設備

- 耐震設計(建築基準法1.5倍、病院と同様)
- ライフライン(非常用発電72時間、地下水)
- 自然素材の活用、省エネ化、UD、バリアフリー、全館WiFi、地下水融雪 など

